

会 議 の 要 旨 （ 議 事 録 ）

会議の名称	第 4 5 回鳥栖市地域公共交通会議		
開催日時	令和 6 年 6 月 3 日（月） 1 4 : 0 0 ~	開催場所	市役所 3 階大会議室 1 ・ 2
出席者数	2 4 人	傍聴人数	0 人
議 題	議案第 1 号 議長の選出【承認】 議案第 2 号 副会長及び監事の選出【承認】 議案第 3 号 令和 6 年度路線バス及びミニバス等に関する事業計画について（案）【承認】 議案第 4 号 鳥栖市地域公共交通網形成計画の改訂について（案）【承認】 議案第 5 号 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）に係る地域公共交通計画について（案）【承認】 議案第 6 号 鳥栖市地域公共交通計画策定に係る市民アンケート調査について（案）【承認】		
配布資料	・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 座席表 ・ 鳥栖市バスマップ ・ 議案第 3 号 令和 6 年度路線バス及びミニバス等に関する事業計画について（案） ・ 議案第 4 号 鳥栖市地域公共交通網形成計画の改訂について（案） ・ 議案第 5 号 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）に係る地域公共交通計画について（案） ・ 議案第 6 号 鳥栖市地域公共交通計画策定に係る市民アンケート調査について（案） ・ 資料 1 路線バス及び鳥栖市ミニバスの利用状況について		
所 管 課	（課名）国道・交通政策課 （電話番号） 8 5 - 3 6 0 2		

協 議 （ 議 事 ） 録

議 題	第 45 回鳥栖市地域公共交通会議
日 時	令和 6 年 6 月 3 日（月）14 時 00 分～15 時 30 分
場 所	3 階大会議室 1・2
出席者	<委員> 井上委員、松永委員、向門委員、角谷委員、中野委員、齊藤委員、篠倉委員、平井委員、大石(豪)委員、肥山委員、大石(良)委員、大石(友)委員、天野委員、野崎委員、中村(慎)委員、仁戸田委員、中島委員、緒方委員、坂井委員、千種委員（代理） <事務局> 国道・交通対策課 4 人

《結果》

議案第 1 号 議長の選出【承認】

議案第 2 号 副会長及び監事の選出【承認】

議案第 3 号 令和 6 年度路線バス及びミニバス等に関する事業計画について（案）【承認】

議案第 4 号 鳥栖市地域公共交通網形成計画の改訂について（案）【承認】

議案第 5 号 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）に係る地域公共交通計画について（案）【承認】

議案第 6 号 鳥栖市地域公共交通計画策定に係る市民アンケート調査について（案）【承認】

《意見等》

議案第 3 号 令和 6 年度路線バス及びミニバス等に関する事業計画について（案）

委 員：「バスの乗り方教室の実施」について、対象の学年はあるのか。また、今年度は基里小、麓小、旭小に加え、若葉小で実施とのことだが、今後も実施する学校を増やしていく方向性であるのか。子供たちの声やその成果も具体的に教えてほしい。

事務局：対象の学年は決めていないが、現在は 2 年生を対象に実施している。学校の先生より、2 年生は社会科見学等でバスを利用する機会があると伺っているため、そういうことを踏まえ 2 年生を対象に実施していると考え。乗り方教室では、実際にバスの車内に入って興味津々な様子で車内表示の見方を学ぶ児童や、バスに関するクイズで一喜一憂する児童の姿が見られる。現在は校区内に路線バスが通っている学校を中心に実施しているが、この事業を通じてバスに関心を持ってもらい子供たちのバス利用に繋げていきたいと考えているため、運行事業者との都合もあるが、少しでも多くの学校で実施したいと考えている。

委 員：「バスマップのリニューアル」について、令和３年度以降「周知」となっているが、今年度作成するバスマップはリニューアルではないのか。

事務局：以前のバスマップは１枚の大きな紙を折ったものであったが、令和２年度に現在の冊子状のものにリニューアルした。今年度作成するバスマップは、ダイヤ等の変更があったところを反映させ、「令和６年４月１日現在」のバスマップとして増刷を行うものであることから、リニューアルと言えるほどの変更は行わないため「周知」としている。

委 員：「周知」だと何も変わっていないように見えるため、「一部改正」に変える等の検討をお願いしたい。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。分かりやすい表記に努めてまいりたい。

議案第５号 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）に係る地域公共交通計画について（案）

委 員：議案第４号の資料に記載のある「別紙」として提出する事項と、議案第５号の事項の順番が異なっているが、議案第５号は書式が決まっているという理解でいいか。

事務局：定められている順番に合わせて記載をし、提出することとなっている。

議案第６号 鳥栖市地域公共交通計画策定に係る市民アンケート調査について（案）

委 員：調査数について、市の調査は２，５００サンプルが多いと感じるが、違う方法はないのか。またバスのダイヤ改正について、非常に良いという方と不便になったという方がいるが、どのような決め方をしているのか。

事務局：調査数は前回調査を行った実績を記載している。計画策定を支援する事業者において統計学の考え方をうけ、鳥栖市の人口約７万人に対し、２，５００サンプルくらいの設定を行っていると考え。業者からの提案も含め、今回いただいたご意見を踏まえながら決めていきたい。次にバスのダイヤ改正について、大規模なダイヤ改正は鳥栖市地域公共交通網形成計画を策定する際に、今回お諮りしているようなアンケート調査や各地域のまちづくり協議会に出向き実施する意見交換等により広くご意見をいただき、それらを踏まえながらダイヤやルートを設定している。改正については全ての方が「良かった」となるのは難しいと考えるが、ダイヤ設定にあたっては今後ともご意見を賜りながら行いたいと考えている。

委員：無作為抽出のアンケートは回収率が大変悪い。区長会や班長会、隣保班、回覧板等を利用して広く意見を聞いてはどうか。またPTAより学校の保護者向けに紙ベースではない方法でアンケートを取ることも可能であるため、そのあたりをうまく利用して欲しい。このアンケートは高齢者と一緒に住んでいる方へ、特に高齢者福祉乗車券の認知にもつながると考える。また調査項目について、路線バスやミニバスの不満点を聞いてあるが、良い点がなくなると困るため、良い点も一緒に聞いてはどうか。

事務局：無作為抽出は統計的手法としてある程度クリーンなやり方であると考えているため、アンケートについてはその考え方をベースに実施したい。アンケートの回収方法については、WEBを活用する等、若い世代にも答えていただきやすい環境づくりに努めたい。また調査項目に良い点も加えてはどうかというご意見だが、いわれるように良い点についてはしっかり伸ばしていく必要があるため、いただいたご意見を踏まえアンケート内容について精査してまいりたい。

委員：調査項目の基本属性に「性別」とあるが、行政のアンケートでは項目にない傾向にある中で、性別を聞く理由があれば教えてほしい。またAIオンデマンドバスについて、鳥栖市では導入していないものであるため市民の方はイメージが湧かないと思う。オンデマンドバスもいろいろな形式があるため、アンケートに示す場合は、鳥栖市が今後導入する場合のイメージに近い説明をしたほうが分かりやすいと考えるが、こういった説明をするのか。

事務局：基本属性の性別については、不要かどうか再度精査し、不要であれば削除する方向で検討したい。オンデマンドバスについては、鳥栖市が今考えているイメージをベースに、オンデマンドバスとはこういった乗り物なのかきちんと伝わるようなアンケートに努めたい。

委員：性別については、あくまでデータ取りであり、適切なサービスを考えるうえで必要なデータだと個人的には思っている。そういった意見があることもご承知おき頂きたい。

事務局：アンケートの目的である、市民の生活移動実態を把握し交通計画の事業に繋げていくため、今いただいたご意見も踏まえながら、性別の取扱いについて再度議論し決定したい。

委員：アンケートの対象が18歳以上となっているが、高校生に対するアンケートの予定はないのか。

事務局：計画策定業務の仕様書の中には高校生アンケートを入れている。通学で公共交通機関を使っている生徒も多いと考えるため、高校生の意見聴取を行いたい。

委員：本日委員から出た意見や業者との協議でアンケートの内容が変わってくると思うが、変更内容等については、再度このような交通会議の場で委員に確認する予定はあるか。

事務局：アンケートは業者が決まった後、7月頃には実施すると思われる。次回の交通会議は夏の終わり頃を予定しており、アンケート実施前に一堂を会して協議いただくのは難しいため、郵送等で内容をお示しし、ご意見を頂戴しながら調整していきたい。

その他

委員：新型コロナウイルスの影響で家に閉じこもっていた高齢者が、ここ最近外に出るようになってきていると感じる。私ども含めて公共交通のPRを行い、高齢者の外出機会を増やしていきたい。また、運転免許証の返納が増えている中で、公共交通網が発達していかないと高齢者の足がなくなってしまうため、更なる推進やPRに協力したい。

事務局：公共交通は路線バスやミニバス以外にも、鉄道やタクシー、AIオンデマンドバス等、多様な公共交通手段がある。そういったものをうまく組み合わせて、鳥栖市においでになれる方も含め、移動に困らないような公共交通網を形成できるよう努めてまいりたい。それに当たってPRも当然必要になると考えるため、委員の皆様にもぜひご協力いただきたい。

委員：高齢者福祉乗車券について、鳥栖市で行っているうらら健康マイレージクラブの景品に入れるのはどうか。

事務局：うらら健康マイレージクラブの担当課である健康増進課よりすでに打診を受けている。対象期間は6月1日からとなっており、今年度分のパンフレットの印刷が終わっているため、今後高齢者福祉乗車券の担当課である高齢障害福祉課も含め検討したい。